

# 加藤 明由 議員 無党派



▲県道弥富名古屋線



▲市江橋

## 問 JRとの覚書締結に問題は

## 答 公正性と透明性の確保

**問** 県道弥富名古屋線のJ

Rと県で交わされた協定書があり、公正性と透明性の確保という項目がある。弥富駅橋上駅舎化事業でのこれまでの交渉過程で、確保されていると考えるか。

**答** (建設部長) 県情報公開条例に基づき開示された文書に対しコメントする立場がない。

**問** JR東海は不可解な協

定を締結し、多額な税金を県に支払わせていると考えられているが、市長の感想は。

**答** (市長) 県事業であり、詳細もわからない中で説明できない。  
**問** JR東海と今後覚書の締結をすることに問題がないか。

**答** 公正性・透明性が確保

され、不明な点は各鉄道事業者に確認しながら進めていく。覚書の締結は問題ない。

**問** 県道弥富名古屋線の完成までに、緊急車両専用道路としての供用を県に提案しては。

**答** 本事業の早期完成、供用開始ができるよう県へ強く要請。

<b>問</b> 土地改良区の合併は
<b>答</b> 容易でない

**問** 市長就任後の2年間の

成果は。  
**答** 桜小学校校長寿命化工事、市町村防災支援システム導入、新火葬場建設、公共施設再配置計画の策定、市民協働課設置、海部南部権利擁護センター立ち上げ。

**問** 残りの任期中に成し遂げたい目標と、手がけたい目標は。

**答** (市長) 成り立ちの経緯や規模の大小、資産や財産、維持管理する施設の大小があり難しい。  
**問** 土地改良区の合併を行う予定は。  
**答** 容易に合併できない。

**答** まずは新型コロナウイルス感染症拡大の防止に全力で取り組む。その他については、総合計画の6つの基本目標の実現に向け、様々な事業を確実に実施する。